

ゼロカーボンシティに挑戦します!!

詳細 環境保全課 ☎(57)8806

苫小牧市は8月24日の記者会見で、「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言しました。

地球温暖化が地球規模で問題化されています。2015年に合意されたパリ協定では「産業革命以前に比べ平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力をする」という目標が示され、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第6次評価報告書では、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とされています。

本市ではこれまで、1973年に北海道で初めて「人間環境都市」を宣言し、2012年度からは日本で初のCCSの実証である「苫小牧におけるCCS大規模実証試験」が開始されるなど、地球温暖化対策を進めてきました。

今後も脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・市が一体となって取り組んでいきましょう!



苫小牧市長 岩倉 博文

ゼロカーボンシティの実現に向けた 苫小牧市の主な取り組み

■主な項目

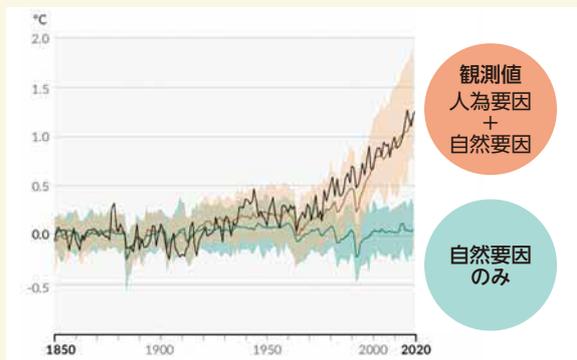
- 1 低炭素・循環型社会の構築
- 2 CCUS・カーボンリサイクルの推進
- 3 再生可能エネルギー・水素エネルギーの導入推進
- 4 森林などの吸収源対策

■今後の具体的な取り組み

- 市域における現状を調査・把握した上で、再生可能エネルギー導入などに関する計画を策定。
- 苫小牧市第3次環境基本計画(地域実行計画)の改訂の際に、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを見据えた具体的な施策を盛り込む。

気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第6次評価報告書より

1850～1900年に対する世界の平均気温の変化



出典:環境省報道発表資料

Google 「Environmental Insights Explorer(EIE)」の苫小牧市のデータ公開



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール「Environmental Insights Explorer (EIE)」において、本市の情報が公開されました。EIEは、建物や交通に由来する温室効果ガス推定排出量や、太陽光発電設備の導入による温室効果ガス削減予測量を推計し、可視化するオンラインツールです。

2018年以降、米国を中心とした世界各都市で活用されています。

※ブラウザはGoogle Chrome、Firefox、Safari、Edge、Operaで閲覧可能 ※英語のみなので、翻訳機能をご活用ください



小泉環境大臣からの メッセージ

苫小牧市の宣言に対して、小泉環境大臣からメッセージを頂きました。



地球温暖化・脱炭素の出前講座実施中!!

世界的な問題になっている地球温暖化の仕組みや現状の解説、苫小牧市のゼロカーボンシティに向けた取り組みをはじめ、大気汚染や水質汚濁といった公害問題など、幅広く環境分野の出前講座を行っています。お申し込み、お問い合わせはコチラから▶



出前講座



ゼロカーボンシティ
関連情報